

波紋

PUBLISHER : 森松株式会社
平成14年 6 JUN No.204 EDITOR : 妹尾峰男

第18回

改善発表会

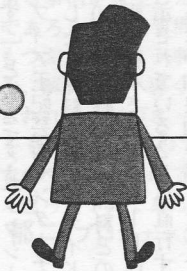
開催日 7月13日(土)

サークル名	テーマ	発表者
ドリーム7	e-net	岩間 正美
レインボー	早くカエル	谷澤 亨
ユニティー	倉庫レポリューション21	横山 敏明
プロジェクト①	ハリポッターと忍者の検索	稲葉 善貴

新サークル結成後、初の発表会!!

今まで以上に充実した発表会にしましょう!!

賞金総額 10万円・優勝5万円!!

改善なくして会社の発展なし。
自己啓発なければ豊かさなし。改善であなたが変わる、
会社も変わる。

森松USA

五月になってもNYは気温の変化が激しく、暑い日差しに冷たい風が吹き日本の感覚で薄着をして出かけると夕暮れ時には寒さに震えることになる、という調子です。

さて、こちらで本屋と言えば、「BARNS&NOBLE (バーンズ&ノーブル)」が全国展開で有名ですが、店舗にはカフェが併設され、店内の本を座席に持ち込み可。休日には床に足を投げ出して長時間の座り読みをしている人も。米国の本の流通システム、私は知りませんが新書も本によっては発売後一定期間を過ぎると、30〜50%のセール品として並びます。日本では新書の値段は一定なので「30%OFF」といったシールが本のカバーに張られて販売されているのは日本人の私にとっては意外な光景です。この書店ではアルバムやポストカード等の文具から玩具、ギフト用品など様々な品目を扱っています。

次に、オフィス用品の「STAPLES (ステープルズ)」に行ってみますと、某カタログ販売のような商品構成が巨大な店舗内に再現されています。お茶菓子、洗剤、本棚(オフィス家具)、パソコン、デジカメ、携帯電話ともはや家具屋なのか家電屋なのか一見ただけでは判断つきかねます。そして、ここでも何故か値下げ札のついた本が。また、町中のドラッグストアでもパソコンまでは無いものの、加湿器、アイロン等の小型家電、カー用品まで扱っています。バーンズ&ノーブル、ステープルズ等のカテゴリキーワードと言われている専門性を持ち、且つ低価格の店舗が扱う品目は、今後どのような方向に変化していくかこれらの店舗をぶらぶらとしてみるとふと思えます。そのうちステープルズに衣料品や薬が並んでも驚かないでしょう。日本でもホームセンターが加工用品のみ販売しているのは昔話になりました。

さて、森松は現在、リサイクル関連の事業の動きが活発ですが、目先の利益だけに終始しないことが多角化することに於いて重要だと考えます。新たな発想とこれまでの経験をバランス良く保つことで、そこからまた商売が生まれるでしょう。5年後には一体どんな事業が利益を生むのでしょうか?



社長 森 直樹

『初体験』

4月30日早朝幹部会議（7時30分～8時30分）開始頃より腹痛がひどくなったので、8時30分病院へ連れて行ってもらう。診察室で点滴してもらったので、10時30分、血液検査をしたら腹痛の原因がはっきり分かった。分からないまま急性胃腸炎の病名で入院が決まる。翌朝5月1日10時の回診時、再度血液検査をする。その結果、盲腸（虫垂炎）の疑いありと知らされる。「じゃ、手術お願いします」という事になりました。もちろん入院する事も初体験です。

4月30日夜は、腹痛で病室回りの状況がよく分かりませんでした。6人部屋のルームメイトに元森松マンの長沢さんが入院していました。そして隣の部屋には、前会長が入院していたのには驚きました。世間は狭いものです。入院1時間で町内中に知れ渡ってしまったのです。

5月1日17時頃手術が終わり、リカバリルームに移され術後順調に推移し、5月5日退院する事が出来ました。リカバリルームは4人部屋で80才以上の老人2人が同室でした。2人共少し痴呆症が始まっており耳も遠いようでしたので、私はこの夜から、看護婦さんの「代理アシスタント」を勤める事になりました。お婆さん達はナースコールのボタンを押せない（看護婦さんの呼び方が分からない）のです。夜中は私が代行者となり、看護婦さんと呼ぶ係りになりました。おかげで昼間は良く眠る事が出来ました。

入院中、日常体験出来ない貴重な体験を数多く体験する事が出来、大変楽しく過ごせたと同時に皆さんに感謝申し上げます。入院しなかったら、発見出来なかった事も数多くありました。

5月9日～5月16日中国出張が決まっていたので出発しました。相手先も手術入院の事は知っていたので、いろいろ御配慮頂き、漢方薬膳を食わせてもらったり、術後の回復に良いとされる食事をさせていただきました。また、「盲腸は若年の人がなるもの、森会長はまだまだ若いですね。」とも言われまして。50歳以降で盲腸になる人はまれだそうです。5月17日無事出張も終わり、帰国して原稿を書いています。

皆さんご心配おかけしました。またお見舞いを有難うございました。謝詞。

会長、森 信之

『ピカソ「ゲルニカ」に再会』

スペイン・マドリッド・アグマール・ホテルのフロントでソフィア王妃芸術センターへ行きたいが、徒歩で何分位かかるか聞く、「約10分。でもアトリーチャ駅付近は安全ではないから、気を付けなさい。バスかタクシーの方が良いです」と教えてくれタクシーで行く事にする。

ソフィア王妃芸術センターチケット売場で購入券を買おうとしたら無料（英文のガイドで、土曜14時30分～21時、日曜10時～14時30分が無料との事、今日は土曜日）。近現代絵画の展示されている1Fには目もくれず、「ゲルニカ」の展示されている2Fへ直行する。以前、ピカソなんて訳の判らない抽象画を描くオッサンとしか思っていなかったが、10年前ツアーでブラド美術館の見学で偶然「ゲルニカ」に出会い、強烈な感動を受け、ピカソの偉大さを認識した。（後ブラドから「ゲルニカ」展示の為に造られたソフィア王妃芸術センターに移管）この「ゲルニカ」は、スペインがフランコ総統の軍事政権時、バスク地方の民族運動抑圧の為、ゲルニカの町を軍事攻撃を行った悲劇に抗議して、ピカソが描いた反戦の絵である。手前の習作の部分画で10年前の感動が蘇ってくる。防弾ガラスに囲われ、両脇に2人の兵士が警備する絵に再会の喜びをおぼえながら、座り込んで眺める。

先回は絵の全体で、強烈なショックを受けたが、今回は、部分部分の訴えているものも見逃す事の無い様に細部に眼に焼き付ける。左側は、子供が犠牲になった母親の悲痛な叫び、中央下は、戦死した兵士の哀しき、右側も戦いの酷さの叫び、中央の馬は、戦死した兵士の戦友のか。窓から覗く美しく哀しい顔は「私の力ではどうしようも出来なかったのか。」と嘆く、天使か神の様。右側の少年の様なのは「敵討ちを必ず！」と、勇んでいる様に見える。

この絵に再会する為だけにマドリッドに立ち寄ったが、その価値は充分に有った。出口の売店で「ゲルニカ」のコピーを購入（4500円）し、次回の再会をこころして帰路に着く。

皆さんも一度インターネットでもよろしいので、御覧になって見ませんか。

上田 邦夫（レインボー）

『ライカというカメラ』

カメラに興味が無くてもライカという名前は耳にした事が有るでしょう。一九二四年に試作完成以後80年以上の歴史を持つカメラの元祖とも言えるドイツの製品で名の由来はライツ社のカメラを略しLEICAと名が付いたそうです。

最近ではフィルムを現像する手間も省けコンピューターで簡単に画像処理出来るデジタルカメラに人気があるようですが、逆に昔ながらの人間の掛かるこうしたスタイルのカメラに人気も有るようで、実用性よりも趣味としては、もうこれ以上のカメラは無いと言えるでしょう。（私も欲しい）しかし値段が高い！

聞く話によるとライツ社もコストを考え一時は海外で製造したり部品も単純化し製造の手間が掛からない工夫を試みた事が有るそうですが、ユーザーの大反発を食らったとの事。理由はドイツで作らないライカはライカでは無いとか、製造や操作に手間の掛からないカメラはドイツ製とは言えない等。以降、ライカはお客様の厳しい御指摘を考慮しつつドイツ本国でドイツ人の手により手作りに近い製造方法（ニッチ生産）で1種類のライカM6（最近ではM7）を製造し業績も好調だとか。

「純国内生産・少品種・小ロット・高価格」……これって今の時代に逆行してませんか？

成瀬勝英

（ユニティー）

読後感

「巧みな質問ができる人できない人」

著者：中島 孝志

「質問力」。それは、誰にでも与えられた平等な力である。簡潔明瞭に急所をズバリと突いてくるその力は、カタログハウスのバイヤーで経験させてもらった。

「この人はすごい。頭がよい。」と感じる。尊敬に値する事もある。逆に、「何が言いたいのか？何を聞きたいのか？」全く見えてこない人や理解できない人もいる。だんだんと頭にくるし「こいつはアホか？」と感じる事もある。何を訊くのか？どの様に訊くのか？訊き方やタイミングが「鋭い質問になるかどうか」の大きな分岐点だと思った。

新聞やニュースで「辻元清美VS鈴木宗男」の10分間バトルを何度も見た。辻元は、わずかに10分の短い時間を最大限に使用して鈴木宗男を追い込んだ。的を射た鋭い質問で急所をズバリと突く見事な質問であったと思う。辻元が自分であったら、宗男を追い込むどころか簡単に逃げられたのではないか…と考えられる。

「質問力」とは、それだけ大きな威力を発するのである。ある事柄が発生した。人によって当然質問が異なるであろう。その質問力で人を伸ばしてあげられる事もつぶしてしまう事もあるのである。解決方向へ導く質問をしてあげられれば「気づき・納得・擁護…」をも可能となるのである。質問力ですべてが変わるのではないかとさえ思った1冊であった。

伊東 郁二(プロジェクト①)



「心理操作ができる本」

著者：渋谷 昌三

心理学の知見があると、自分では気づきにくい心理操作が理解しやすくなるでしょう。一見すると、きわめて不思議に思われる現象であっても、心理学的に見ると、単純なカラクリにすぎないことがあります。

本書は、心理学の視点から、人間観察のポイントを分析し、応用テクニックを短いコラム形式で記述・編集しています。著書名「心理操作ができる本」とは、本の内容に比較すると看板がいささか大きすぎですが、人間の行動や所作(しよさ)から心理を読み取る要点が記されており、一度目を通しておくにこしたことはありません。ただこれでは、読書感想文にはならないので、以下私が実際に心理操作されたことについてお話しします。

今から20年程前、私は居合の英信流を少しかじっておったのですが、ある日伯耆流と言う居合の古流派の道場で、稽古をつけてもらえる機会を得ました。運良くその人は80歳近いおお先生がおいでになり、高弟、師範、古参など30数名が居並ぶ中、英信流の独り私が、道場におお先生と向き合いました。先生と私の間合いは二間ほど、立ち技からで、演舞は抜刀から始まります。

武道の開始は、二呼吸目の息を吐きながら始めるのですが、二呼吸目の吸う息の時、おお先生の姿が目に入ったとたん、二呼吸目の息が吐けなくなってきました。息がはけなければ抜刀できません。再度最初から呼吸を整え、いざ抜刀という時になると、先生のピックとした指の動きなどが目に入り、慌てて三呼吸目を吸ってします。そのうち、刀の柄に手をかけたまま抜刀できず金縛りにあっている自分が解り、よけいにあせり脂汗を流して立ちすくんでおりました。目の前で、私が柄を握った手の上から、おお先生に押さえ込まれているのに気が付いた時、二間あった間合いが、鼻と鼻が突き合わせられる距離になっており、「ご苦労さん」の一言でその日の稽古は終わります。

狐につままれた様であり、悔しく腹立たしく、このままおめおめハジをさらしたまままで英信流に帰れぬ、闇討ちをかけ、独りで切り込もうかと思いつめたほどです。その後、数回伯耆流へ稽古に通う間に、高弟からあの時「息を読まれた」と教えて頂きました。武道にも人を見て、心理操作を仕掛ける術があると言うお話です。

井上 豊(プロジェクト②)



『修学旅行今昔』

先日、テーブルの上に子供の修学旅行の日程表が置いてあったので、目を通して見ました。1日目、デイズニーシー、2日目横浜フリータイム、3日目伊豆高原にて体験学習(バラクライダー、シユノールケリリング、吹きガラス、キーキ作り等の中から1つ選択)。伊豆の宿はペンションで、先生とは別のペンションで宿泊するのだそうです。まるで一般向けの旅行社のパンフレットのようなのです。

自分の中学校時代と比較して文句を言うわけではありませんが、あまりの変わり様に驚きました。何十年も昔の話ですが、自分達の時は、東京タワーに上ったり、NHK、国会議事堂、美術館を団体行動でぞろぞろと列をつなぎ見学したりしました。それに比べ子供達は数人で遊びたい放題。

時代の移り変わりなのではなか。まるで修学旅行に対する考え方が変わって来ているような気がします。社会見学という要素は無く、レジャー感覚という感じですね。確かに2度と行かないようなところばかり見学しましたが、それはそれで良いと思います。自分の子供は死ぬまで国会議事堂なんて絶対行かないでしょう。代議士になれ

ば別ですけどね。

伊藤 雅典

(ドリーム7)



2002年

6月の予定



- 1日(土) 第一土曜休み
- 3日(月) 第一青経塾・不二パークホテル
- 8日(土) 第二土曜休み
- 12日(水) 浅見さん誕生日
- 12日(水) ものしりふろドッグs名古屋
- 15日(土) ポートメッセ名古屋
- 15日(土) 第三土曜休み
- 16日(日) 大橋さん誕生日
- 17日(月) 誕生会・本社4F
- 20日(木) 森松産業・モーリン
・ 椿ビニール決算
12時00分～
- 22日(土) 健康診断
15時00分～17時00分
- 24日(月) 経営会議・幹部会合同
7時30分～
- 25日(火) 営業会議
15時10分～
- 26日(水) 生産会議
18時00分～
- 26日(水) 編集会議
18時00分～
- 29日(土) 第五土曜休み

2002年カレンダー 7月～12月

7 JUL

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

10 OCT

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

8 AUG

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11 NOV

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

9 SEP

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12 DEC

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

|| 編集後記 ||

「結婚」

去年から今年にかけて、友人が次々と結婚しています。今年になってから2組の結婚式に出席しました。2組の新郎は共に小学生からの友人で、この歳まで一緒に遊んだり、お酒を飲んだりたまたまケンカもしたりして腐れ縁というか長い付き合いが続いています。

先日、その友人に子供が生まれたとの報告を受け、早速お祝いに行って来ました。生まれたばかりの赤ちゃんはとても可愛いくとても幸せそうでした。またその友人が結婚して親父になった姿をみて、一人前になったんだな、自分も頑張らなくちゃなと感じました。



稲葉 善貴
(プロジェクトA)

